



第6回 新千歳空港
国際アニメーション映画祭
New Chitose Airport
International Animation Festival 2019



第6回 新千歳空港
国際アニメーション映画祭

Press Release

2019年10月8日
新千歳空港国際アニメーション映画祭実行委員会

はじめに

新千歳空港に集え！世界の最新アニメーション

2019年秋。北海道と世界を結ぶゲートウェイ、そしてエンターテインメント空港としても躍進する新千歳空港ターミナルビルを会場に、世界中のアニメーション作品を一堂に集めた「第6回 新千歳空港国際アニメーション映画祭」を開催します。

ターミナルビル内にあるシアターはもちろんのこと、ホテル、温泉などのさまざまな施設・機能を最大限に活用して「空港全体で発信する、空港だからできる映画祭」を目指す本映画祭は、世界の共通文化であるアニメーションをキーワードに、世界初の空港内映画祭として2014年に開幕。昨年の来場者数は国内外から過去最多となる、約38,000人を記録しました。また、昨年より旭川、帯広、函館など道内各地でサテライト上映会を開催し、空港内に留まらない積極的な活動を行っています。

映画祭のメインであるコンペティション部門では、昨年5回目の開催にして応募作品数・会期中来場者数とも過去最多を記録。応募作品数としては国内トップレベルとなり、かつ世界から多くの注目を集めるアニメーション映画祭に成長しました。

また、国内外の話題作など招待作品の上映はもちろん、新たなアニメーションの可能性を切り拓くべく、様々なカルチャーやエンターテインメントへの興味につながる多角的な展開を行い、作家にとっても最新情報と国際的な出会いを共有できる場を提供。本映画祭の開催を通じて新しい形の国際交流が図られることにより、世界中の映画祭ファンが、年に一度帰ってくる「世界のホーム」となることを目指します。

新千歳空港国際アニメーション映画祭実行委員会





開催概要

名 称	第6回 新千歳空港国際アニメーション映画祭				
開催日程	2019年11月1日（金）～11月4日（月・祝）				
会 場	新千歳空港ターミナルビル				
主 催	新千歳空港国際アニメーション映画祭実行委員会				
後 援	総務省 / 外務省 / 経済産業省 / 観光庁 / 文化庁 / 東京航空局 / 北海道運輸局 / 日本政府観光局（JNTO） / オーストラリア政府観光局 / 韓国観光公社 / タイ国政府観光庁 / 台湾観光協会東京事務所 / 中国駐東京観光代表処 / フィリピン観光省 / 香港政府観光局 / ロシア連邦観光庁 / 北海道 / 千歳市 / 千歳市教育委員会 / 日本アニメーション協会 / 日本アニメーション学会 / 日本動画協会 / 映画産業団体連合会 / 北海道新聞社 / NHK札幌放送局 / 北海道放送 / 札幌テレビ放送 / 北海道テレビ放送 / 北海道文化放送 / テレビ北海道 / エフエム北海道 / エフエム・ノースウェーブ / STVラジオ （順不同）				
協 賛	アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. / 石屋製菓(株) / サッポロビール(株) / 新千歳空港ターミナルビルディング(株) / 大日本印刷(株) / 東日本電信電話(株) / (株)北洋銀行 / (株)北海道銀行 / 北海道コカ・コーラボトリング(株) / (株)マテック / (株)ロイズコンフェクト				
特別協力	日本航空(株) / 全日本空輸(株) / (株)AIRDO / スカイマーク(株) / エアアジア・ジャパン / エアプサン / 上海吉祥航空 / 大韓航空 / ティーウェイ航空 / 千歳アウトレットモール・レラ				
実行委員会	名誉委員長	古川	タク	アニメーション作家（日本アニメーション協会会長）	
	委員長	小出	正志	東京造形大学 教授（日本アニメーション学会会長）	
	副委員長	阿部	直志	新千歳空港ターミナルビルディング(株)代表取締役社長	
	委員	伊藤	隆介	北海道教育大学 教授	
	委員	野村	辰寿	多摩美術大学 教授	
	委員	布山	タルト	東京藝術大学大学院 教授	
	委員	伊藤	博之	クリプトン・フューチャー・メディア(株)代表取締役	
	委員	鶴井	亨	(株)北海道新聞社 常務取締役	
	フェスティバルディレクター		土居 伸彰	(株)コエーディア代表取締役	
	チーフディレクター		小野 朋子	イベントプランナー	
事務局	新千歳空港国際アニメーション映画祭事務局 札幌市中央区北1条西2丁目1 札幌時計台ビル9F 株式会社えんれいしゃ内				



開催フレーム



第6回 新千歳空港 国際アニメーション映画祭 New Chitose Airport International Animation Festival 2019

アニメーション コンペティション

国内外からアニメーション作品を募集し、アワードを決定します。

■部門

◆短編コンペティション

- ・インターナショナルコンペティション
- ・日本コンペティション
- ・ミュージックアニメーションコンペティション
- ・学生コンペティション

◆長編コンペティション

■アワード

グランプリ	: 100万円
日本グランプリ	: 50万円
長編グランプリ	: 30万円
新人賞	: 20万円
学生グランプリ	: 記念品
ベストミュージックアニメーション	: 10万円
観客賞	: 10万円
新千歳空港賞	: 5万円
キッズ賞	: 記念品
審査員特別賞	: 記念品

その他、各省庁・スポンサーによるアワードなど（予定）



招待上映

現在TVや劇場などで人気の作品、子ども向け作品、シニア層には懐かしい作品まで、あらゆる世代層に響く多様な作品の上映します。また、上映作品の声優、監督などのゲストを招いたトークを実施します。

■招待作品

- ・爆音上映

- ・国内商業アニメーション上映&ゲストトーク

- ・海外招待作品

- ・アニメーションスタジオ特集

- ・プロフェッショナルトーク

…他

※一部無料プログラムあり
※プログラムは随時追加予定



センタープラザイベント

招待プログラム上映以外にも、新千歳空港内でアニメーションに関連した各種プログラムを実施いたします。

■展示・体験イベント

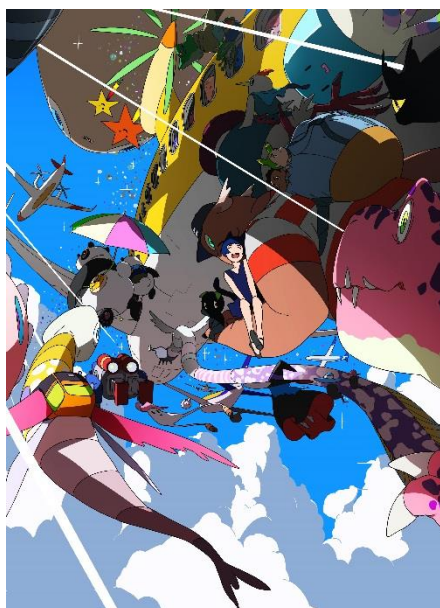
新千歳空港国内線2Fセンタープラザにて、アニメーション関連展示や一般来場者向けの体験型イベント等を展開します。

（予定）



映画祭メインビジュアル・トレーラーについて

メインビジュアル



第6回新千歳空港国際アニメーション映画祭を飾るメインビジュアルを担当くださったのは、アニメ、漫画、イラストと多岐に渡る活動をされ、今年2019年には劇場作品『センコロール コネクト』が公開された札幌出身・宇木敦哉さんです！本メインビジュアルは、新千歳空港ターミナルビル内をはじめ、WEB・ポスター等を展開していきますのでご注目ください！



宇木敦哉

北海道札幌市出身。『アモン・ゲーム』がアフタヌーン四季賞2005年夏のコンテストで四季大賞を受賞。その後、動画革命東京の第1期支援作品に選出された『センコロール』が2009年に公開される。アニメ、漫画、イラストレーション、キャラクターデザインを中心に活動中。2019年6月『センコロール』にその続編『センコロール2』を合わせた『センコロール コネクト』が発表される。

<http://www.ukix.org/nl/>

トレーラー



2019年の映画祭を飾る公式トレーラーは、愛とユーモアをカラフルに表現し続ける唯一無二のアニメーション作家、冠木佐和子さん制作！飛行機に乗って天国みたいな空港映画祭までピロピロピローーんとひとつ飛び！現在、既に新千歳空港ターミナルビル内デジタルサイネージで公開中。フルバージョンは映画祭期間中の会場にて公開します。



冠木佐和子

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。アダルトビデオ制作会社に就職、退職。その後多摩美術大学大学院修了。世界4大アニメーション映画祭、SXSW、サンダンス、ロッテルダム、ゆうばりなど世界各国の映画祭でノミネート、受賞歴多数。MTV、J-SPORTS、Eテレ等のクライアントワークをこなす傍ら人間の営みの全てを愛情とユーモアと共にカラフルに表現し続ける、唯一無二のオリジネーター。

<http://sawakokabuki.wixsite.com/xxxx>



コンペティション

コンペティション基本情報

■コンペティション情報

・部門

◆短編コンペティション

- ・インターナショナルコンペティション
- ・インターナショナルコンペティション・ファミリー
- ・日本コンペティション
- ・ミュージックアニメーションコンペティション
- ・学生コンペティション

◆長編コンペティション

- ・長編コンペティション

・アワード

アワード名	賞金	概要
短編グランプリ	1作品/100万円	インターナショナルコンペティションの作品を対象に、総合的に最も優れた作品に授与されます。
日本グランプリ	1作品/50万円	製作国が日本、または日本が含まれる国際共同製作作品を対象に、最も優れた作品に授与されます。
長編グランプリ	1作品/30万円	長編アニメーション部門コンペティション作品を対象に、総合的に最も優れた作品に授与されます。
新人賞	1作品/20万円	教育機関在学中に制作、もしくは卒業して初めて制作した作品に授与されます。
審査員特別賞	若干数/記念品	国際審査員それぞれの視点で評価する作品に授与されます。
ベストミュージックアニメーション	1作品/10万円	ミュージックアニメーションコンペティションの作品を対象に、最も優れた作品に授与されます。
学生グランプリ	1作品/記念品	学生コンペティションの作品を対象に、最も優れた作品に授与されます。
キッズ賞	1作品/記念品	こども審査員がインターナショナルファミリー作品の中から選定した作品に授与されます。
観客賞	1作品/10万円	短編アニメーション部門各コンペティション作品上映後に投票を行い、投票率が最も高い作品に授与されます。
新千歳空港賞 【対象：アジア限定】	1作品/5万円	全応募作品の中から、製作国・地域がアジアである作品を対象に、最も優れた作品に授与されます。
各省庁によるアワード	記念品	後援各省庁によるアワードを設けます。
協賛によるアワード	記念品	映画祭協賛社の名前を冠したアワードです。

■応募・一次選考・ノミネートデータ

・応募、選考日程

- * 作品応募期間 : ①短編コンペティション 2019年4月15日(月)～6月30日(日)
②長編コンペティション 2019年4月15日(月)～7月31日(水)
- * 作品応募総数 : ①2,191件(84の国と地域)
②50件(32の国と地域)
- * 一次選考会議日程 : ①2019年8月5日(月)・6日(火)・7日(水)
②2019年8月29日(木)

・ノミネート作品数

- * インターナショナルコンペティション : 42作品
- * インターナショナルコンペティション・ファミリー : 11作品
- * 日本コンペティション : 19作品(内インターと重複9作品)
- * ミュージックアニメーションコンペティション : 13作品
- * 学生コンペティション : 20作品(内インター・日本と重複10作品)
- * 長編コンペティション : 5作品
- * ノミネート総数 : 91作品(短編86作品、長編5作品 ※)
- ※コンペティション上映作品数(重複ノミネートはカウントなし)

国際審査員

■ インターナショナルコンペティション・日本コンペティションを審査



ジャンネット・ボンズ/Jeanette Bonds (アメリカ)

ジャンネット・ボンズはインディペンデント・アニメーションのための活動を行う非営利団体GLASアニメーションの共同設立者かつディレクターである。カリフォルニア芸術大学の実験アニメーション学科にて学士号と修士号を取得。デイヴィッド・ギルモアのミュージック・ビデオ「Girl in the Yellow Dress」(ダニー・マッデン監督)のアニメーション・プロデューサー、ニコラス・ソアバーンのライブツアー用のビジュアルの監督、Kid 606「B Minor」のミュージック・ビデオの監督などを担当。現在は、長年のコラボレーターであるショーン・バックリューとともに設立したB&B Picturesにて監督・プロデューサーをしている。国際的なアニメーション・コレクティブ「レイト・ナイト・ワーク・クラブ」の一員、ASIFAハリウッドの理事、スラムダンス映画祭やFMXのプログラマーでもある。過去には、ロサンゼルス映画祭、グラマー・マガジン、ショート・オブ・ザ・ウィークとも仕事をしている。ナラティブから抽象作品、インスタレーションまで幅広い作品を作っている。



クリストバル・レオン/Cristóbal León (チリ)

クリストバル・レオン(1980年、チリ生まれ)はアニメーション映画、インスタレーション、絵画、彫刻などで制作を行う。チリ・カトリック大学とベルリン芸術大学で学び、2009年から2011年までアムステルダムDe Ateliersのレジデンス・プログラムに参加。2007年からホアキン・コシーニャとの共作をスタート。写真、ドローイング、彫刻、パフォーマンスなど様々なテクニックを組み合わせた映画制作を行っている。レオンとコシーニャの作品はこれまで複数の賞を受賞し、国際映画祭で定期的に上映、また、ホワイトチャペル・ギャラリー、グッゲンハイム美術館(ニューヨーク)、クンストヴェルケ現代美術センター(ベルリン)、ヴェネチア・ビエンナーレ、アート・バーゼルなど、美術館やビエンナーレでも展示されている。2人による初の長編『The Wolf House』は2018年の第68回ベルリン国際映画祭にてプレミア上映され、カリガリ賞を受賞。レオンは現在サンティアゴを拠点にしている。



和田淳/Atsushi Wada (日本)

1980年兵庫県生。大阪教育大学、イメージフォーラム付属映像研究所、東京藝術大学大学院で映像を学ぶ。2002年頃から独学でアニメーションを制作しはじめ、「間」と「気持ちいい動き」を大きなテーマに制作を続けている。『わからないブタ』(10)がファンタジー国際アニメーション映画祭でBestfilm、文化庁メディア芸術祭で優秀賞等国内外の映画祭で受賞。『春のしくみ』(10)がベネチア映画祭オリゾンティ部門で上映され、『グレートラビット』(12)がベルリン国際映画祭短編部門で銀熊賞を受賞する。また『秋アントニオ・ヴィヴァルディ「四季」より』が新千歳空港国際アニメーション映画祭で日本グランプリを受賞。映画『私は猫ストーカー』(09)、『ゲゲゲの女房』(10)『ディアーディーアー』(15)でアニメーションパートを担当する。現在、大手前大学准教授、大阪教育大学、京都精華大学非常勤講師。

■ 長編コンペティション・学生コンペティションを審査



ダニエル・スージック/Daniel Šuljić (クロアチア)

ダニエル・スージックはザグレブ生まれのアニメーション映画監督・ミュージシャンで、ザグレブとウィーンを拠点にしている。その作品は世界中の映画祭で数多く上映、様々な映画祭の審査員や回顧上映も行っている(シュトゥットガルト、モントラ、スーパートゥーン、アニフィルム、アニバーなど)。アニメーション、音楽、イラスト、サウンド・デザイン、DJの分野で活動。現在は、新作制作に加え、ロッポンギという名のエレクトリック・バンドで音楽のプロデュースもしている。2011年からはアニマフェスト・ザグレブのアーティスティック・ディレクターを担当。2010年から2012年にはクロアチア・オーディオ・ビジュアル・センターにてアニメーション映画のコミッションをする。2013年から2017年にはザグレブ市の文化カウンスルのメンバー(映画部門)、2017年からはエミール・ヨーロッパ・アニメーション・アワードのアンバサダー(クロアチア担当)、2018年からはザグレブ芸術大学のアニメーション・ニューメディア学科にてアニメーションの准教授をしている。



チョン・ダヒ/Dahee Jeong (韓国)

チョン・ダヒはソウルの弘益大学校でコミュニケーション・デザインを学んだあと、パリのENSAD(国立高等装飾美術学校)でアニメーションの修士号を取得した。初の作品『Man on the Chair』(2014)はカンヌ映画祭の監督週間上映され、アヌシーの短編部門でクリスタル(グランプリ)を獲得した。『The Empty』は広島国際アニメーションフェスティバルでグランプリを受賞し、世界中の100以上の映画祭で上映された。2018年より、映画芸術科学アカデミーの会員である。



武井克弘 / Katsuhiko Takei (日本)

1984年7月9日生まれ。東京都出身。2009年、早稲田大学第一文学部卒業。同年、東宝 入社。2013年より映像事業部映像企画室に所属。主な仕事に、『干物妹! うまるちゃん』(2015年放送)プロデューサー、『リトルウィッチアカデミア』(2017年放送)プロデューサー、『宝石の国』(2017年放送)プロデューサー、『HELLO WORLD』企画・プロデュース(2019年公開)などがある。

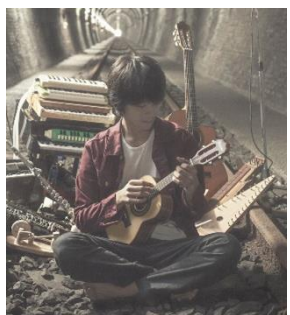
MV審査員（ミュージックアニメーションコンペティションを審査）

ミュージックアニメーションコンペティションは、コンペティションプログラム内で公開審査を行い、グランプリ（ベストミュージックアニメーション）を決定します。



辻川幸一郎/Koichiro Tsujikawa (日本)

フリーのグラフィックデザイナーとして活動をはじめ、友人のミュージシャンのMV制作を頼まれた事から、映像制作をはじめめる。現在ではCM、MV、ショートフィルム、などの映像作品を中心に、webやグラフィックの企画など様々なジャンルで国内外問わず制作中。



トクマルシューゴ/ Shugo Tokumaru (日本)

様々な楽器や非楽器を用いて作曲・演奏・録音をこなす音楽家。2004年NYのインディレーベルより1stアルバムをリリース、各国のメディアで絶賛を浴びる。以降、国内外ツアーやフェス出演、映画・舞台・CM音楽制作など幅広い分野で活動し、近年はNHK Eテレ『ミミクリーズ』の音楽も手がけている。2016年、4年ぶりとなるアルバム『TOSS』をリリース、翌2017年には2年ぶりの開催となる自身主催の音楽フェス『TONOFON FESTIVAL』の開催や、最新アルバムの海外リリースや公演などを敢行。昨年2018年も自身初となるオーケストラとの共演コンサートを開催、その模様を収めた映像作品をリリースした。今年2019年も様々な形態でのライブ演奏やイベント開催、楽曲制作を予定しており、その活動のフィールドをますます拡げている。

<http://www.shugotokumaru.com/>



mebae (日本)

北海道在住のアニメーター兼イラストレーター。テレビ・劇場アニメーション、書籍・マンガのイラストなどを多数手がけるほか、アーティスト・村上隆率いるカイカイキキのアニメーションスタジオ、STUDIO PONCOTANの代表も務める。テレビアニメ『6HP』では、作画監督とキャラクターデザインを担当。livetuneの音楽アルバムへのイラスト提供など、コラボレーションも多数。著作に作品集『NONSCALE』、『罵倒少女』など。ビリー・アイリッシュ×村上隆のコラボMVでは、キャラクター/コスチュームデザイン&キーアニメーションを手掛ける。

コンペティション応募作品数①

■ 短編コンペティション 国・地域別総応募数（2019.4.15～6.30募集）

応募総数：2191作品（84の国と地域）

区分/Area		制作国・地域/Country・Region	制作国・地域別応募数 Number of works submitted 2019年応募数
アジア Asia	東アジア	日本	230
		韓国	41
		中国	55
		香港	45
		台湾	59
	東南アジア	インドネシア	4
		シンガポール	51
		タイ	4
		フィリピン	1
		ベトナム	1
	中央アジア	マカオ	5
		マレーシア	8
		ウズベキスタン	1
	南アジア	カザフスタン	1
		インド	33
		パキスタン	1
	西アジア	バングラディッシュ	1
		スリランカ	2
		アラブ首長国連邦	4
		イスラエル	30
		イラン	71
ヨーロッパ Europe	西ヨーロッパ	イラク	4
		トルコ	16
		レバノン	2
		ヨルダン	1
		クウェート	1
	中央ヨーロッパ	小計/Sub-total	672
		アイルランド	18
		イギリス	148
		オランダ	24
		フランス	209
	南ヨーロッパ	ベルギー	32
		ルクセンブルク	1
		オーストリア	15
		スイス	33
		スロバキア	9
	北ヨーロッパ	スロベニア	10
		チェコ	16
		ドイツ	94
		ハンガリー	29
		ポーランド	27
	東ヨーロッパ	イタリア	30
		キプロス	3
		ギリシャ	11
		スペイン	44
		ポルトガル	13
その他	中南米	マルタ	2
		エストニア	25
		スウェーデン	11
		デンマーク	17
		ノルウェー	3
	オセアニア	フィンランド	6
		ウクライナ	10
		クロアチア	27
		セルビア	4
		ブルガリア	15
	アフリカ	ルーマニア	4
		ロシア	57
		ベラルーシ	2
		ジョージア	4
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	2
	合計/Total	小計/Sub-total	957
		アフリカ	31
		オセアニア	16
		中南米	139
		北米	371
		合計/Total	2191
		国と地域数/Countries and Regions	84

※昨年実績
応募総数：2,034
国と地域数：86

短編コンペティション ノミネート情報

国・地域別ノミネート一覧

区分	制作国・地域	ノミネート数
アジア Asia	日本	23
	韓国	2
	中国	3
	香港	1
	台湾	1
	マカオ	1
	小計/Sub-total	31
ヨーロッパ Europe	イギリス	8
	フランス	3
	ベルギー	1
	オーストリア	2
	スイス	3
	チェコ	3
	ドイツ	5
	ハンガリー	1
	ポーランド	3
	スペイン	1
	ポルトガル	1
	エストニア	2
	デンマーク	1
	フィンランド	2
	ロシア	2
	小計/Sub-total	38
北米 North America	アメリカ	9
	カナダ	6
	小計/Sub-total	15
中南米 Central & South America	アルゼンチン	1
	小計/Sub-total	1
オセアニア Oceania	オーストラリア	1
	小計/Sub-total	1
合計/Total	応募数	86
	国と地域数	25

■一次選考委員

倉重 哲二 北海道教育大学 准教授
大島慶太郎 北海道情報大学 准教授
土居 伸彰 (株)ニューディアー代表取締役 (本映画祭フェスティバルディレクター)
小野 朋子 本映画祭チーフディレクター

インターナショナルコンペティション ノミネート作品

インターナショナルコンペティション 1

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	Winter in the Rainforest	Anu-Laura Tuttelberg	エストニア、メキシコ、リトアニア
2	Central Square	Daniel Rowe	アメリカ
3	Acid Rain	Tomek Popakul	ポーランド
4	[Gif] “ぺろ” ほか	冠木佐和子 (Sawako Kabuki)	日本
5	[Gif] “Head Hitting GIF” ほか	Nata Metlukh	アメリカ
6	4:3	Ross Hogg	イギリス
7	My Best Friend "Explodes", "Rewinds", "Ends"	Will Anderson, Ainslie Henderson	イギリス
8	KIDS	Michael Frei	スイス
9	Strings	Ruini Shi	イギリス
10	[VR] MOWB	油原和記 (Kazuki Yuhara)	日本
11	Spines	Elisa Morais, María Álvarez (Sois de Traca)	イギリス

(計 11作品)

インターナショナルコンペティション 2

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	ici	Sylvie Denet	フランス
2	Intermediate landscapes	Richard Negre	フランス
3	CASTLE	宮嶋 龍太郎 (Ryotaro Miyajima)	日本
4	Splash	Shen Jie	中国
5	Survival HK	Louise Pau	香港、アメリカ
6	[Gif] “void” シリーズ	平岡政展 (Masanobu Hiraoka)	日本
7	[VR] Manic VR	Kalina Bertin	カナダ
8	ELI	Nate Milton	アメリカ
9	Purpleboy	Alexandre Siqueira	ポルトガル、フランス

(計 9作品)

インターナショナルコンペティション ノミネート作品

インターナショナルコンペティション3

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	Dont Know What	Thomas Renoldner	オーストリア
2	Our House	Fábián Balogh	ハンガリー
3	After	Matouš Valchář	チェコ
4	Now 2	Kevin Eskew	アメリカ
5	Still Lives	Elli Vuorinen	フィンランド
6	Trauma Chameleon	Gina Kamentsky	アメリカ
7	Brain Wave	Jake Fried	アメリカ
8	[Gif] “やかん” ほか	服部グラフィックス (Hattori-Graphics)	日本
9	サイシュ〜フ	ぬQ (nuQ)	日本
10	Geenie Reenie II	Andrew Onorato	オーストリア
11	Court Sketch Artist	Jochen Kuhn	ドイツ
12	He Can't Live Without Cosmos	Konstantin Bronzit	ロシア

(計 12作品)

インターナショナルコンペティション4

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	Toomas Beneath the Valley of the Wild Wolves	Chintis Lundgren	エストニア、クロアチア、 フランス
2	The Six	Chen Xi, An Xu	中国
3	Morning	Vojtěch Domlátil	チェコ
4	四月	Zhou Xiaolin	日本
5	Movements	Jeong Dahee	韓国
6	[Gif] “Citizen Hippo” シリーズ	Xiao Hong	中国
7	[モーションコミックス] えんちゃんち	最後の手段 (Saigo No Syudan)	日本
8	Mother and Milk	Ami Lindholm	フィンランド
9	The Physics of Sorrow	Theodore Ushev	カナダ

(計 9作品)

インターナショナルコンペティション ノミネート作品

■主なノミネート作品



『Acid Rain』

(Tomek Popakul/ポーランド)



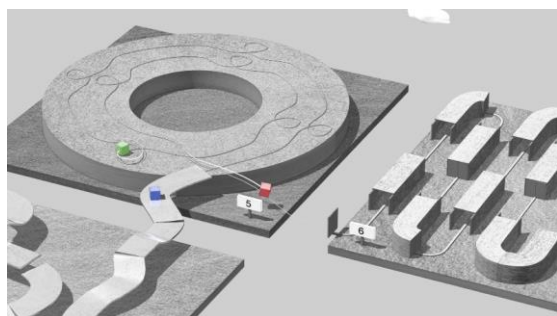
[VR] 『MOWB』

(油原和記/日本)

インターナショナルコンペティション・ファミリー ノミネート作品

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	The Last Day of Autumn	Marjolaine Perreten	スイス
2	Muedra	Cesar Díaz Meléndez	スペイン
3	パッヘルベルのカノン	大西景太 (Keita Onishi)	日本
4	Cat Lake City	Antje Heyn	ドイツ
5	This Is Pig Meat	Peter Millard	カナダ
6	Sweet Night	Lia Bertels	ベルギー
7	Technology for Talking	Jemima Hughes	イギリス
8	Water Beby	KIM Sang-nahm	韓国
9	The Deluge Fable	Michael Zamjatnins	ドイツ
10	Here	Loïc Kreyden	スイス
11	Hello, My Dears	Sasha Vasiliev	ロシア

(計 11作品)



『パッヘルベルのカノン』

(大西景太 (Keita Onishi) /日本)



『Muedra』

(Cesar Díaz Meléndez/スペイン)

日本コンペティション ノミネート作品

NO.	作品タイトル	監督名
1	SHISHIGARI	押山清高 (Kiyotaka Oshiyama)
2	ある日本の絵描き少年	川尻将由 (Masanao Kawajiri)
3	LOCOMOTOR	金子 勲矩 (Isaku Kaneko)
4	脳の上	野々上 聡人 (Nonowe Akihito)
5	HAZY	小川 陽 (Yo Ogawa)
6	The Dawn of Ape	水江未来 (Mirai Mizue)
7	MIMI	Lisa FUKAYA
8	向かうねずみ	築地 のはら (Nohara Tsukiji)
9	[VR] Akasha inside Goddess	円香 (Madoka)
10	赤頭巾	ウイ マン (Man Wei)
11	[Gif] “ぺろ” ほか	冠木佐和子 (Sawako Kabuki)
12	[VR] MOWB	油原和記 (Kazuki Yuhara)
13	CASTLE	宮嶋 龍太郎 (Ryotaro Miyajima)
14	[Gif] “void” シリーズ	平岡政展 (Masanobu Hiraoka)
15	[Gif] “やかん” ほか	服部グラフィックス (Hattori-Graphics)
16	サイシュ〜ワ	ぬQ (nuQ)
17	四月	Zhou Xiaolin
18	[モーションコミックス] えんちゃんち	最後の手段 (Saigo No Syudan)
19	パッヘルベルのカノン	大西景太 (Keita Onishi)

(計 19作品 ※内インターと重複9作品)

※NO.11~19については、インターナショナルコンペティションと重複ノミネートとなる日本作品です。

日本グランプリの審査対象となります。(日本コンペティションプログラム内では上映されません。)

※シシヤマザキ監督『Pink dust in the Wind ～すべてはピンクのもやの中に～』は諸事情により上映を行わないこととなりました。何卒ご了承の程お願い致します。

■主なノミネート作品



『SHISHIGARI』 (押山清高)



『HAZY』 (小川 陽)

ミュージックアニメーションコンペティション ノミネート作品

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	中村佳穂 “きつとね！”	Sivan Kidron	日本、イスラエル
2	Flamingo	Kawo a.k.a. Sushijojo	マカオ
3	Gelbart “March of the Thinking Machines”	Adi Gelbart	ドイツ
4	Homeshake “Nothing Could Be Better”	Steve Smith	カナダ
5	A Year Along the Geostationary Orbit	Felix Dierich	ドイツ
6	4:3	Ross Hogg	イギリス
7	Juana Molina - Paraguay Punk	Dante Zaballa	アルゼンチン
8	Perennial Stream	Sonnye Lim	アメリカ
9	1980YEN “たこやきストーリー”	冠木佐和子 (Sawako Kabuki)	日本
10	くるり “Tokyo OP”	影山紗和子 (Sawako Kageyama)	日本
11	んoon “Gum”	谷口 暁彦 (Akihiko Taniguchi)	日本
12	来生たかお “マイ・ラグジュアリー・ナイト”	水尻自子 (Yoriko Mizushiri)	日本
13	Powder “New Tribe”	AC部(AC-bu)	日本

(計 13作品)

※ミュージックアニメーションコンペティション ノミネート作品は、同上映プログラム内で特別審査員による公開審査で授賞作品（ベストミュージックアニメーション）を決定します。

※AC部監督『Powdar “New Tribe”』が追加ノミネートとなりました。

■主なノミネート作品



『Flamingo』

(Kawo a.k.a. Sushijojo/マカオ)



『くるり “Tokyo OP”』

(影山紗和子/日本)



学生コンペティション ノミネート作品

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	God of Chaos	Maddie Brewer	アメリカ
2	My Strange Elder Brother	Julia Orlik	ポーランド
3	Applesauce	Alexander Gratzner	オーストリア
4	An Eye for an Eye	Julia Ploch	ポーランド
5	Ice Time	Rachel Samson	カナダ
6	Ce goût en bouche	Laura Passalacqua	フランス
7	Facing it	Sam Gainsborough	イギリス
8	In Passing	Esther Cheung	カナダ
9	Do-ji-le?	Tzu-Hsin (Cindy) Yang	台湾、アメリカ
10	Daughter	Daria Kashcheeva	チェコ
11	Now 2	Kevin Eskew	アメリカ
12	Our House	Fábián Balogh	ハンガリー
13	[VR] MOWB	油原和記 (Kazuki Yuhara)	日本
14	Survival HK	Louise Pau	香港、アメリカ
15	Here	Loïc Kreyden	スイス
16	Hello, My Dears	Sasha Vasiliev	ロシア
17	LOCOMOTOR	金子 勲矩 (Isaku Kaneko)	日本
18	向かうねずみ	築地 のはら (Nohara Tsukiji)	日本
19	赤頭巾	ウイ マン (Man Wei)	日本
20	四月	Zhou Xiaolin	日本

(計 19作品 内インター・日本と重複10作品)

※NO.11~20については、インターナショナルコンペティション、日本コンペティションノミネート作品と重複ノミネートとなる学生作品です。学生グランプリの審査対象となります。
(学生コンペティションプログラム内では上映されません。)

ショーケース上映作品

コンペティションには惜しくも選ばれなかったものの、それぞれアニメーション表現の魅力を存分に伝える作品をセレクトしました。

インターナショナルショーケース

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	Bloomers	Samantha Moore	イギリス
2	Symbiosis	Nadja Andrasev	フランス、ハンガリー
3	Wind	Dana Sink	アメリカ
4	A Double Life	Studio Job, Joris & Marieke	オランダ
5	Orbit	Tess Martin	オランダ
6	GUAXUMA	Nara Normande	ブラジル、フランス
7	Sugar	Harry Rubin-Falcone	アメリカ
8	Fire in Cardboard City	Phil Brough	ニュージーランド
9	Nettle Head	Paul E. Cabon	フランス

(計 9作品)

アジアンショーケース

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	Goldfish	Fish Wang	台湾
2	何度でも忘れよう	しばたかひろ (Takahiro Shibata)	日本
3	シャラボンボン	幸洋子 (Yoko Yuki)	日本
4	Kingdom	Wei Keong Tan	シンガポール
5	SAN	Jin Woo	韓国
6	舞空	齊藤光平 (Kohei Saito)	日本
7	Origin of species	liuyi	中国
8	The Myth Of Haftvad Worm	Asghar Safar, Abbas Jalaliyekta	イラン
9	そばへ	石井俊匡 (Toshimasa Ishii)	日本
10	COMET	中村匠吾 (Shogo Nakamura)	日本
11	Mascot	Kim Lee-ha	韓国

(計 11作品)

長編コンペティション応募作品数

■長編コンペティション 国・地域別総応募数（2019.4.15～7.31募集）

応募総数：50作品（32の国と地域）

区分/Area		制作国・地域/Country・Region		2019年度 2019年応募数
アジア Asia	東アジア	日本	Japan	4
		韓国	Korea	2
		中国	China	2
	東南アジア	フィリピン	Philippines	1
	西アジア	カザフスタン	Kazakhstan	1
	西アジア	イスラエル	Israel	1
		イラン	Iran	1
		トルコ	Turkey	1
小計/Sub-total			13	
ヨーロッパ Europe	西ヨーロッパ	アイルランド	Ireland	1
		イギリス	United Kingdom	1
		フランス	France	1
	中央ヨーロッパ	オーストリア	Austria	1
		スイス	Switzerland	1
		ドイツ	Germany	1
	南ヨーロッパ	イタリア	Italy	4
		スペイン	Spain	1
	北ヨーロッパ	エストニア	Estonia	1
		スウェーデン	Sweden	1
		ノルウェー	Norway	2
		ラトビア	Latvia	2
	東ヨーロッパ	セルビア	Serbia	1
ロシア		Russia	2	
小計/Sub-total			20	
北米 North America	アメリカ		U.S.A.	2
	カナダ		Canada	1
	小計/Sub-total			3
中南米 Central & South America	アルゼンチン		Argentina	1
	コロンビア		Colombia	1
	チリ		Chile	2
	ブラジル		Brazil	4
	ベネズエラ		Venezuela	3
	メキシコ		Mexico	1
	小計/Sub-total			12
オセアニア Oceania	ニュージーランド		New Zealand	1
	小計/Sub-total			1
アフリカ Africa	ナイジェリア		Nigeria	1
	小計/Sub-total			1
合計/Total		応募数/Number of works submitted		50
		国と地域数/ Countries and Regions		32

※昨年実績
 応募総数：49
 国と地域数：25

■ノミネート作品 国・地域別

5作品（5の国と地域）

【内訳】

アジア : 1作品（日本）
 ヨーロッパ : 2作品（フランス、ラトビア）
 北米 : 1作品（カナダ）
 中南米 : 1作品（チリ）

長編コンペティション ノミネート作品

■長編コンペティション ノミネート作品一覧

NO.	作品タイトル	監督名	制作国・地域
1	Ville Neuve	Félix Dufour-Laperrière	カナダ
2	The Wolf House	Cristóbal León, Joaquín Cociña	チリ
3	Away	Gints Zilbalodis	ラトビア
4	音楽	岩井澤健治 (Kenji Iwaisawa)	日本
5	I Lost My Body	Jérémy Clapin	フランス

(計 5作品)

■作品情報



『Ville Neuve』

監督：Félix Dufour-Laperrière

作品時間：1:16:00

製作国：カナダ

製作年：2018

Félix Dufour-Laperrière監督『Ville Neuve』（2018年/カナダ）は、1990年代のケベック州独立運動の最中、離婚した中年夫婦が相見え、関係性を探る物語を描きます。



『The Wolf House』

監督：Cristóbal León, Joaquín Cociña

作品時間：1:13:28

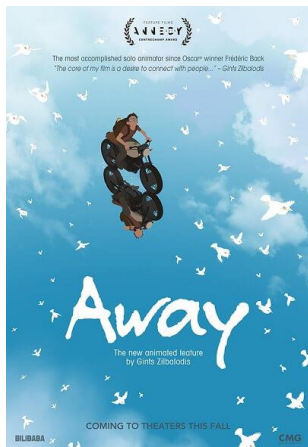
製作国：チリ

製作年：2018

Cristobal León & Joaquín Cociña監督『The Wolf House』（2018年/チリ）は、周辺環境から隔離された村より逃げ出した少女が迷い込んだ家で起こる奇妙な出来事を、部屋全体をコマ撮りするダイナミックな手法で描きます。

※11月4日（月）のコンペティション上映では、作品上映後「マスタークラス（短編部門国際審査員） クリストバル・レオン『The Wolf House』メイキング・トーク」を続けて開催します。

長編コンペティション ノミネート作品



『Away』
監督：Gints Zilbalodis

作品時間：1:14:42
製作国：ラトビア
製作年：2019

Gints Zilbalodis監督『Away』（2019年/ラトビア）は、飛行機事故で不時着をした少年が、黒い影に追われながら生き延びるサバイバル劇です。

※11月3日（日）のコンペティション上映では、作品上映後「マスタートーク ギンツ・ジルバロディス『AWAY』メイキング・トーク」を続けて開催します。



『音楽』
監督：岩井澤健治

作品時間：1:08:00
製作国：日本
製作年：2019

日本からは、7年を超える制作期間をかけて作られた岩井澤健治監督『音楽』（2019年/日本）がノミネート。不良学生が思いつきでバンドを始める音楽劇です。

※11月1日（金）のコンペティション上映では、ライブ用の上質な音響スピーカーを用いた「爆音上映」の形式での上映＋ミニライブを開催いたします。（詳細は本リリースP22）
※11月3日（日）には、関連プログラムとして「メイキング・トークアニメーション映画『音楽』」を開催します。（詳細は本リリースP30）



『失くした体』
監督：Jérémy Clapin

作品時間：1:21:00
製作国：フランス
製作年：2019

Jérémy Clapin監督『失くした体』（2019年/フランス）は、切断された手が自分自身の身体を探して現代のパリの街を彷徨う物語と、その身体の持ち主であるモロッコ移民の青年の物語がパラレルに語られます。



招待作品
新千歳空港シアター

招待作品（長編コンペティション特別上映）



長編コンペティション部門
アニメーション映画

「音楽」ON-GAKU: Our Sound

11月1日(金)の上映会は
舞台挨拶 + ミニライブ 開催!

11月1日ライブゲスト



トクマルシューゴ



伴瀬 朝彦

長編アニメーション「音楽」先行爆音上映 舞台挨拶+ミニライブ

監督：岩井澤健治×原作：大橋裕之（「音楽と漫画」太田出版）

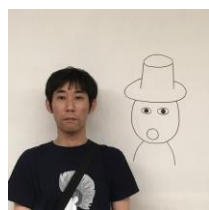
7年超に及ぶ個人制作期間を経てついに堂々完成！制作期間は約7年超、作画枚数は実に40,000枚超を全て手描き。分業制、CG制作が主流のアニメーション制作において、何もかもが前代未聞の長編アニメーション『音楽』を2020年の全国公開に先駆けて先行上映を行います。さらに、11月1日（金）の上映回は特別に爆音上映！トクマルシューゴさん、伴瀬朝彦さんほかゲストをお迎えしての特別ミニライブも開催します。

■ ライブゲスト



トクマルシューゴ

様々な楽器や非楽器を用いて作曲・演奏・録音をこなす音楽家。2004年NYのインディレーベルより1stアルバムをリリース、各国のメディアで絶賛を浴びる。以降、国内外ツアーやフェス出演、映画・舞台・CM音楽制作など幅広い分野で活動し、近年はNHK Eテレ『ミミクリーズ』の音楽も手がけている。



伴瀬朝彦

シンガーソングライター。幼少時クラシックピアノを習得するも、ブルーズ、ロックンロール、歌謡曲に洗礼を受け、独自の切り込みで作詞作曲を手掛ける。伴瀬朝彦名義の他、「cookingsongs」でキーボードと歌、「片想い」でベース、「ホライズン山下宅配便」でギターを担当している。CM音楽作曲、サポート演奏も行っている。

ほか、岸田佳也（Dr）、三浦千明（Tp）

招待作品

ゲストイン

爆音上映

トーク

特集企画：アニメーションスタジオ TRIGGER

『リトルウィッチアカデミア』、『キルラキル』などオリジナリティあふれる作品を世に送り出し続ける気鋭のアニメーションスタジオ「TRIGGER」にフィーチャーした特集プログラム。最新劇場作品『プロメア』の爆音上映をはじめ、スタジオ主要スタッフによるトークプログラムを実施します。



爆音上映『プロメア』

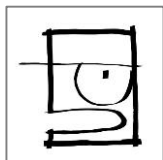
人気TVシリーズ「天元突破グレンラガン」（2007）、「キルラキル」（2013）の最強の二人、アニメ界を沸かせる今石洋之監督と演劇界を牽引する中島かずき氏による初の完全オリジナル劇場アニメーション『プロメア』。興行収入12億突破、上映100日を達成した2019年度最も国内を燃え上がらせた大ヒット作を爆音上映！上映前にはTRIGGERより今石洋之氏、コヤマシゲト氏、大塚雅彦氏、若林広海氏、をお招きして舞台挨拶を開催します。

■作品情報

監督：今石洋之 / 2019年 / 日本 / 2:11:00

公式サイト：<https://promare-movie.com/>

■ゲスト



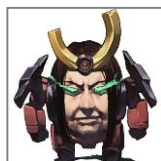
今石洋之 / 監督



コヤマシゲト / キャラクターデザイナー



大塚雅彦 / 副監督



若林広海 / クリエイティブディレクター

招待作品



ゲストイン

レクチャー

入場無料

スタジオフィーチャー TRIGGER 「TRIGGER in NEW CHITOSE 2019」

「作品が弾丸だとしたら、それを打ち出す引き金でありたい。」

『天元突破グレンラガン』で監督を務めた今石洋之を中心としたスタッフが独立し、新たに立ち上げたアニメーションスタジオTRIGGER。2013年に初のTVシリーズ作品となる『キルラキル』を世に送り出し、その後も『リトルウィッチアカデミア』や『SSSS.GRIDMAN』など、キャラクターや世界観までをゼロから創造するオリジナル作品を大きな武器として世界に挑む！

4名のゲストをお迎えして、スタジオの設立から、2019年大ヒットを記録したスタジオ初の長編劇場アニメ『プロメア』に至るまで、TRIGGERの魅力により深く味わうスタジオトークを北海道初開催します。

■ゲスト



今石洋之
アニメーション監督



コヤマシゲト
デザイナー



大塚雅彦
監督・演出家
TRIGGER代表取締役



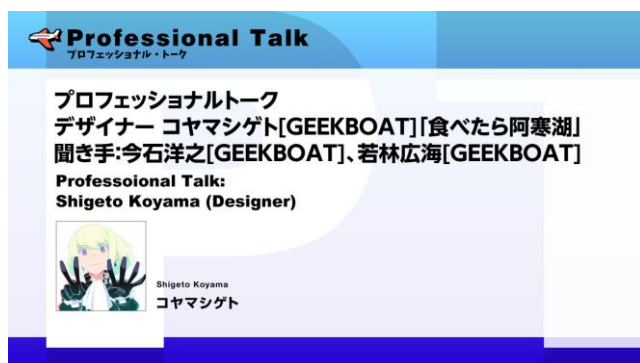
若林広海
クリエイティブディレクター

プロフェッショナルトーク デザイナー コヤマシゲト[GEEKBOAT]「食べたら阿寒湖」

ゲストイン

レクチャー

入場無料



ゲーム、アニメーション作品のキャラクター・メカニックデザインなど、日本を代表するフィクション専門のデザイナーであるコヤマシゲト氏 [GEEKBOAT] に、アニメーションスタジオでデザインを始められたきっかけから、現在までのご活動内容を総括的にお話いただきます。2019年大ヒットを記録した劇場長編アニメ『プロメア』のデザインにおけるお話をはじめとし、アニメ制作というグループワークの中でデザインを行う特徴と魅力について迫ります。

(聞き手：今石洋之 [GEEKBOAT]、若林広海 [GEEKBOAT])

招待作品



ゲストイン

爆音上映

トーク

辻川幸一郎 爆音上映+トーク
～Corneliusから“てっちゃん”へ～



GUEST
辻川幸一郎

©Warner Music Japan Inc.

辻川幸一郎 爆音上映+トーク ～Corneliusから“てっちゃん”へ～

日本を代表する映像作家 辻川幸一郎を映画祭に迎えての特集上映を開催します。盟友Corneliusのために制作した近年のミュージックビデオを爆音上映。静けさのなか、親密で超越的な内面へと滑り込んでいく映像の数々へお誘いします。監督本人による解説トークも。（聞き手：映画祭ディレクター 土居伸彰）

■上映作品

Cornelius “あなたがいるなら”
Cornelius “Surfing on Mind Wave pt.2”
Cornelius “Mellow Yellow Feel”
Cornelius “The Spell of a Vanishing Loveliness”
Cornelius “Omstart”
Cornelius “Like A Rolling Stone”
てっちゃん（予告編）
ほか

■ゲスト



辻川幸一郎

フリーのグラフィックデザイナーとして活動をはじめ、友人のミュージシャンのMV制作を頼まれた事から、映像制作をはじめ。現在ではCM、MV、ショートフィルム、などの映像作品を中心に、webやグラフィックの企画など様々なジャンルで国内外問わず制作中。

公式サイト

<http://tsujikawakoichiro.com/>

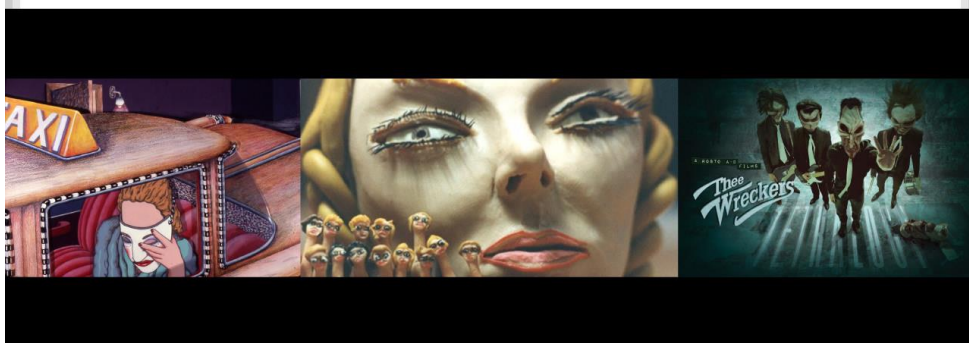
招待作品

さよならアニメーションの無意識たち——
スーザン・ピット、ブルース・ビックフォード、Rosto
追悼爆音上映



爆音上映

トーク



さよならアニメーションの無意識たち——
スーザン・ピット、ブルース・ビックフォード、Rosto 追悼爆音上映

今年2019年、スーザン・ピット(1943-2019)、ブルース・ビックフォード(1947-2019)、そして Rosto(1969-2019)という三名の大作家がこの世を去りました。余人に代えがたいユニークな作風のこの作家たちは共通して、「アニメーションによる無意識（もしくは人智を超えたもの）の表現」に取り組んでいたように思われます。今年の新千歳では、この作家たちが築き上げてきた無意識の世界たちを、爆音上映によって大きく響かせることにより、この三名の作家たちの功績を振り返るとともに、彼らが発見した、私達人間に気づかずに眠っている領域について、再認識します。

■ トークゲスト



辻川幸一郎

フリーのグラフィックデザイナーとして活動をはじめ、友人のミュージシャンのMV制作を頼まれた事から、映像制作をはじめ。現在ではCM、MV、ショートフィルム、などの映像作品を中心に、webやグラフィックの企画など様々なジャンルで国内外問わず制作中。



土居伸彰

新千歳空港国際アニメーション映画祭フェスティバル・ディレクター。

招待作品

爆音上映『AKIRA』

爆音上映



2014年、本映画祭での上映時に2回とも満員御礼を記録した大友克洋監督『AKIRA』爆音上映が、映画の舞台となった2019年と同年である今年、再び降臨！2020年の4Kリマスター、そして新アニメ化プロジェクトが発表された今、改めて35mmフィルム上映でお届けします。圧倒的な映像とサウンドで人々に衝撃を与えた2019年「ネオ東京」の世界に、新千歳空港でお会いしましょう。

作品情報

原作・監督：大友克洋
音楽：芸能山城組（ビクター）
音響：明田川 進
録音：瀬川徹夫
124分／35mm／1988年／日本

©1988 マッシュルーム／アキラ製作委員会

爆音上映『銀河鉄道の夜』

爆音上映



杉井ギサブロー監督など豪華スタッフが集結！

「タッチ」や『グスコーブドリの伝記』などを手がけ、2010年には文化庁映画功労賞を受賞した杉井ギサブロー監督が、宮沢賢治の童話をアニメーション映画化。登場人物を擬人化した猫に置き換えたますむらひろしの漫画を原案に、細野晴臣による幻想的な音楽にのせて描かれた傑作を爆音上映！

作品情報

監督：杉井ギサブロー
原作：宮沢賢治
音楽：細野晴臣
107分／BD／1985年／日本

© 朝日新聞社／テレビ朝日／KADOKAWA／アスミック・エース

招待作品

北海道現代アニメーション総進撃！2019

ゲストイン

トーク



2014年から毎年開催している、北海道在住または出身作家による最新アニメーション作品特集「北海道現代アニメーション総進撃!」。ミュージックビデオやワークショップでの成果物を再構築した新作をはじめ、若手作品からプロフェッショナルまで、2019年最も注目する北海道アニメーションの祭典をお楽しみください。上映終了後、出品作家をお招きしてのQ&Aを行います。

センコロール コネクト

ゲストイン



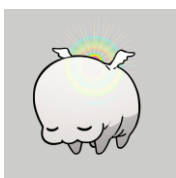
札幌出身の宇木敦哉監督がほぼ一人で作り上げ、熱狂的な支持を得た伝説の短編アニメーション『センコロール』から10年。今年6月、続編となる『センコロール コネクト』が全国公開されました。映画祭では、11月2日（土）の上映回に、本作の監督でありメインビジュアルを制作してくださった宇木敦哉氏と、1作目の『センコロール』制作に参加されているmebae氏（スタジオボンコタン代表）と澤田淳氏もお迎えし、舞台挨拶付き特別上映を開催します。緻密に組み上げられたビジュアルセンス、繊細さと凶暴さを併せ持った縦横無尽なアニメーションをご堪能ください！

■ 作品情報

監督：宇木敦哉 / 2019年 / 日本 / 1:15:00

公式サイト：<https://www.cencoroll.com/>

■ ゲスト



宇木敦哉

北海道在住。
アニメーション監督、イラストレーター。



mebae

北海道在住。
アニメーター、イラストレーター。

招待作品

プロフェッショナルトーク ポッカイドウチホー・アニメシティ・シンチト、 凱旋グランプリ森脇真琴VS石岡良治

ゲストイン

トーク

入場無料

Professional Talk

プロフェッショナルトーク
ポッカイドウチホー・アニメシティ・シンチト、
凱旋グランプリ 森脇真琴VS石岡良治
Professional Talk:



Makoto Moriaki
森脇 真琴



Yoshiharu Ishioka
石岡 良治

ポッカイドウチホー出身で『おねがいマイメロディ』や『ミルキィホームズ』、『プリパラ』を監督してきた鬼才・森脇真琴と、「日本アニメ100年の歴史は『プリパラ』で結実する」と断言する批評家・石岡良治とのユメの初対談が、アニメシティ・シンチトでちゅど〜んと実現！ ユメブリカの故郷で繰り広げられる、ルール無用の凱旋グランプリを勝ち抜くのはどっちだ！（立会人：高瀬康司）

※本プログラム前に、TVアニメ「おねがいマイメロディ」の無料上映プログラムも開催します。

■ゲスト



森脇真琴

アニメーション監督・演出家。北海道出身。アニメーターとしてシンエイ動画に入社。現在はフリーランス。主な監督作に、TVアニメ『おるちゅばんエビちゅ』、『おねがいマイメロディ』シリーズなど。



石岡良治

1972年生まれ。批評家・表象文化論（芸術理論・視覚文化）・ポピュラー文化研究。早稲田大学文学学術院（文化構想学部）准教授。

アーティスト mebae（ミュージック部門審査員） 「札幌で長くアニメーション制作を続けるということ」

ゲストイン

レクチャー

入場無料

Animation Masterclass

レクチャー

マスタークラス アーティスト mebae
「札幌で長くアニメーション制作を続けるということ」
Masterclass Artist: mebae



mebae

アニメーター兼イラストレーターとして人気を集め、村上隆氏率いるカイカイキキのアニメーションスタジオ、STUDIO PONCOTANの代表も務めるアーティスト mebae氏をお迎えし、現在までのキャリアについて総括的にお話いただきます。北海道教育大学卒業後、地元札幌においてスタジオというチームで制作をすることにこだわった強度あるスタイルをもち、オリジナル作品を発信するにいたるまでの軌跡について迫ります。（聞き手：カイカイキキ 澤田淳）

招待作品

メイキング・トーク アニメーション映画『音楽』

ゲストイン

レクチャー

入場無料



長編部門ノミネート作品：アニメーション映画『音楽』は、漫画家の大橋裕之による「音楽と漫画」（太田出版）を原作とする不良学生たちのロック奇譚です。制作期間は約7年超、作画枚数は実に40,000枚超を全て手描き、クライマックスの野外フェスシーンをダイナミックに再現するため、実際にステージを組みミュージシャンや観客を動員してのライブを敢行。分業制、CG制作が主流のアニメーション制作において、何もかもが前代未聞の長編アニメーションプロジェクトとなりました。

本プログラムでは、監督の岩井澤健治氏とプロデューサーの松江哲明氏をお迎えし、作品の制作背景についてお話いただきます。

■ゲスト



岩井澤健治

1981年東京都生まれ。高校卒業後、石井輝男監督に師事、実写映画の現場から映像制作を始め、その傍らアニメーション制作を始める。



松江哲明

1977年東京生まれ。99年『あんによんキムチ』でデビュー。以後『あんによん由美香』『ライブテープ』『トーキョードリフター』等、ドキュメンタリーを発表。

プロフェッショナルトーク スタジオドリアン 押山清高監督「『SHISHIGARI』にいたるまで」

ゲストイン

レクチャー

入場無料



『フリップフラッパーズ』で監督デビュー、スタジオドリアン代表取締役を務める押山清高さんをお招きし、最新作である『SHISHIGARI』に至るまでの豊富なキャリアを、絵コンテや原画などの資料も交えながら、振り返っていただきます。

『電脳コイル』やスタジオジブリ作品、『鋼の錬金術師 嘆きの丘の聖なる星』などで独創的なアニメートを披露し注目を集めてきた押山さんの、創作の秘密に迫ります。（聞き手：高瀬康司）※『SHISHIGARI』本編は、日本コンペティションプログラム内で上映します。

■ゲスト



押山清高

1982年生まれ。アニメーター、アニメーション監督、株式会社ドリアン代表取締役。「電脳コイル」（2007）の仕事で注目を集め、以後「エヴァンゲリオン新劇場版；破」（2009）、「風立ちぬ」（2013）など劇場作品に数多く携わる。2017年に永野優希とともにスタジオドリアンを設立。

招待作品

アニメ特撮アーカイブ機構（ATAC）スペシャルトーク 「アニメと特撮の文化を後世に遺すために」

ゲストイン

トーク

入場無料



特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構（英名／Anime Tokusatsu Archive Centre、略称／ATAC）は、アニメと特撮の文化を後世に遺し、継承していくことを目的に、2017年6月に設立した特定非営利活動法人（NPO法人）です。アニメや特撮に関する様々な資料を保全し、これらを活用した普及啓発を行い、アニメと特撮の文化を継承するアーカイブ活動を推進しています。本プログラムでは、ATACより発起人である2名のゲストをお迎えし、活動内容についてお話いただきます。

■ゲスト



氷川竜介

アニメ・特撮研究家、明治大学大学院特任教授、ATAC理事。



三好寛

ATAC事務局長。文化事業担当学芸員としてATACの設立（17年）に携わる。

特別企画 NHK

2分アニメシリーズ「ふつうってなんだろう？」

ゲストイン

トーク

入場無料



発達障害の「困りごと」を抱えた当事者の経験を、2分間のアニメで表現したNHKの「ふつうってなんだろう？」シリーズ。各話それぞれ異なる特性で悩む当事者が登場し、「ご本人」がナレーションを担当。2020年以降の日本のアニメーション業界を背負う作家たちとタッグを組んだ本シリーズは大きな話題を呼びました。このプログラムでは、シリーズ全作品を上映するほか、番組プロデューサーである佐藤正和氏をはじめ、制作に参加した2名の作家をお迎えして、制作エピソードについてお話いただきます。

■ゲスト



佐藤正和（プロデューサー）

NHK第1制作ユニット（教育・次世代）プロデューサー
1975年生まれ。東京出身。中央大学法学部卒業。96年NHK入局。「ピタゴラスイッチ」「シャキーン！」「デザインあ」「ノーゾーのひらめき工房」「JAPANGLE」「Q～こどものための哲学」「u & i」「パブリカ」といった子ども向けの教育番組を手掛けて、現在に至る。

参加作家：水江未来、冠木佐和子

招待作品

アルス・エレクトロニカ 2018 受賞作品集

ゲストイン

トーク

入場無料



アルス・エレクトロニカ2018 受賞作品集

国際コンペティション プリ・アルスエレクトロニカ
Prix Ars Electronicaは、1987年の設立当初から
Computer Animation部門を設置。同趣旨の部門とし
ては世界最古のものとなっています。過去の受賞作品
の歴史を見ていけば、『トイストーリー』や『タイタ
ニック』などハリウッドにおけるCG作品からドキュメ
ンタリー、VRまで、デジタル技術およびCGというテク
ノロジーが時代ごとにどの分野で最先端の探求をして
きたのかがわかる歴史を築いています。今回の上映プ
ログラムでは、2018年の同部門の受賞作品からのセレ
クションをお届けします。このセレクションからは、
デジタル・テクノロジーが人間の知覚・世界認識を変
えつつあることが浮き彫りになります。上映後には、
プリ・アルスエレクトロニカ ヘッドの小川絵美子氏に
よるトークも。

ぐるっとアニメーションワールド！

入場無料



360°のパノラマスクリーンを持つ雪ミクスカイトウン
の「北海道ぐるっとシアター」。人気アニメーション
作家で本年度国際審査員の和田淳氏が、2017年横浜美
術館で展示した作家初のマルチチャンネル（複数画
面）によるインスタレーション作品『私の沼』をはじ
めとした、迫力ある上映環境を活かした現代アニメ
ーション作品をお届けします。入場無料となりますので、
「北海道ぐるっとシアター」未体験の方もぜひお立ち
寄りください。

※本プログラムは、国内線ターミナルビル4F雪ミクス
カイトウン内、「北海道ぐるっとシアター」での実施
となります。）



北海道ぐるっとシアター

『雪ミクスカイトウン』は、北海道を応援するキャラクター「雪ミク（初音
ミク）」のショップ&ミュージアムです！等身大の雪ミクに会えるミュージア
ム、北海道の雄大な自然映像をはじめとする360°の全周映像を体感できるシア
ター、オリジナルアイテムを取り揃えたショップなどがあり、北海道と雪ミク
の魅力をたっぷりお楽しみいただけます！

日本アニメーション学会 秋の研究集会@新千歳空港

入場無料



日本アニメーション学会員による研究発表大会。アニメーションについ
ての興味深い研究テーマを発表しますので、一般の皆様もぜひご参加く
ださい。

※本プログラムは国際線ターミナルビル「新千歳空港ポルトムホール」
内セミナールームでの実施となります。

アニメーションマスタークラス

映画祭ディレクター ジャネット・ボンズ（短編部門審査員） 「GLASアニメーション映画祭プレゼンツ アメリカン・インディペンデント」

ゲストイン

トーク



設立当初から、GLASはアメリカのインディペンデント・アニメーションの重要性を常に強調してきました。この上映において、私たちは「インディペンデント」を「商業的な資金を得ずなおかつ教育機関の外部で作られた作品」として定義しました。この文脈で作られる作品は、作家の好奇心を満たす以外の何ものでもない理由によって作られることによって、革新と実験の格別のエッジをもたらします。この上映では、新世代のアメリカのインディペンデント・アニメーション作家たちの作品を取り上げます。

アニメーション作家 和田淳特集上映（短編部門審査員） 「和田淳作品集2005-2019」

ゲストイン

トーク



「間」と「気持ちのいい動き」を大きなテーマに作品をつくっています。このふたつを強く意識し始めた作品『鼻の日』から近年の作品までを制作年順に上映することで、私が重視している気持ちのいい「間」や「動き」をしつこいくらいタププリと感じてもらうとともに、時を経るごとに変わってきたものも観てもらえるのではないかと思います。（和田淳）

■ 上映作品

鼻の日（日本／0:09:30）
そういう眼鏡（日本／0:05:40）
わからないブタ（日本／0:10:10）ほか

アニメーション作家 和田淳（短編部門審査員） 「それじゃ見えないよ」

ゲストイン

レクチャー

入場無料



10年以上前から作品のつくりかたはあまり変わっていません。作品ごとに手法やつくりかたを変える方が多いなか、これはマンネリ化と言っているのでしょうか。でも僕はまだ飽きてないのです。まだおじいちゃんに鼻を擦りつけたいし、裸でジタバタのたうち回りたいたいのです。そういう動きを描きたいのです。一体何がそんなに飽きさせないのか。そんなことをお話しできればと思います。（和田淳）

アニメーションマスタークラス

映画祭アーティストディレクター ダニエル・スールジック（長編部門審査員）

ゲストイン

トーク

「ザグレブ国際アニメーション映画祭受賞作品&クロアチア作品 ベストセクション」



1972年設立のザグレブ国際アニメーション映画祭はアニメーション芸術に捧げるものとしては世界で二番目に歴史のある映画祭です。その主要な哲学は、映画作家による映画作家のための映画祭ということでありつづけていることです。エミール賞、アカデミー賞、アニメ賞の対象映画祭でもあります。本プログラムでは、ここ数年のグランプリ作品を中心に、映画祭の開催地であるクロアチアの作品も含むベストセクションをお送りします。

アニメーション作家 チョン・ダヒ（長編部門審査員） 「夢見家もまた夢見られている」

ゲストイン

トーク



チョン・ダヒのアニメーションは、映画による時間と空間の研究です。その関心は、映画館という空間、スクリーン上のイメージ、そしてそのイメージと向き合う観客の関係性に端を発するものです。このトークでは、着想から制作過程、完成に至るまでのプロセスについてお話しします。

■上映作品

Man on the Chair (0:06:55)
The Empty (0:09:27)
Movements (0:10:15) ほか

東宝株式会社プロデューサー武井 克弘（長編部門審査員） 「劇場長編作品『HELLO WORLD』からはじまるアニメの新時代」

ゲストイン

レクチャー

入場無料



東宝映像事業部映像企画室に所属し、制作スタジオ「オレンジ」の和氣澄賢プロデューサーとのプロデューサーユニット「プロジェクト」でも活躍する武井克弘プロデューサーをお招きし、アニメの企画・プロデュースについてお話いただきます。アニメの企画とは何をするのか？ プロデューサーの役割とは？ 企画・プロデュースを務めた、伊藤智彦監督の最新作『HELLO WORLD』の制作背景を実例に、そのプロデュース論に迫ります。（聞き手：高瀬康司）



連携プログラム ポルトムホール

新千歳空港ポルトムホール 連携プログラムについて

映画祭会期中、新千歳空港国際線2階に開業予定の「新千歳空港ポルトムホール」のこけら落とし公演として、「新千歳空港国際アニメーション映画祭」との連携プログラムを実施します。

NEW CHITOSE AIRPORT PORTOM HALL

■新千歳空港ポルトムホールについて

新千歳空港ポルトムホールは、国際線ターミナルビルに直結しており、海外からの参加者が多い会議や催事に適した多目的ホールです。330席収容の移動観覧席を備えたメインホールをはじめ、中・小規模の会議から展示会、パーティーまで、様々なニーズに対応します。

公式サイト：<https://www.portom-hall.jp/>



ポルトムホールイメージ

■映画祭連携プログラムについて

本連携プログラムでは、「第6回 新千歳空港国際アニメーション映画祭」の開閉会式・レセプションパーティーをはじめ、同ホールで初めての公演にふさわしい豪華ゲストプログラムを多数予定しています。

11月2日には千歳市出身の声優 鈴木愛奈さんを招聘したプログラム、11月3日には北海道を舞台とした2つのアニメーション作品に関連したプログラムなど、様々な催事に対応可能な同ホールの特色と、「北海道から世界に発信する」本映画祭の強みを生かしたプログラム展開します。（詳細は次ページ以降をご覧ください。）



ポルトムホール特別プログラム

TVアニメ『邪神ちゃんドロップキック』スペシャルイベント 「北サバト in NEW CHITOSE 2019」



千歳市出身の人気声優鈴木愛奈さんが主演を務める2018年夏に放送されたアニメ「邪神ちゃんドロップキック」は、現在2020年の放送に向けて千歳市とコラボを実施中！支笏湖を背にしたコラボイラストポスターの作成や、千歳市オリジナルとして描き下ろされた「支笏湖チップ邪神ちゃん」「マレクゆりね」などのオリジナルグッズが千歳サーモンパークで販売されています。そして2019年9月に開始されたクラウドファンディングでは1800万円を達成（現在も進行中）し、そのゴールの一つとしてこの度新千歳空港国際アニメーション映画祭の場をお借りして、邪神ちゃん初の北海道イベントを実施することになりました。大画面でアニメ最終話（11話）を視聴し、挿入歌「神保町哀歌」生歌を聴くことができるスペシャルイベント。イベントの最後にはとびきりの発表も行います。邪神ちゃん史に残るこの日のイベントをお見逃しなく！

【イベント内容】

- ・ホール大スクリーンにて『邪神ちゃんドロップキック』11話上映
- ・専用衣装を纏った鈴木愛奈さん、大森日雅さんによるライブ
- ・ゲストによる北海道トークショー
- ・とびきりの発表。????役の????さんも登場

【作品情報】

TVアニメ『邪神ちゃんドロップキック』 第11話
監督：佐藤 光 / 2018年 / 日本 / 24分 / デジタルデータ / 日本語音声
公式サイト：<http://jashinchan.com/>

■ゲスト



鈴木愛奈
(邪神ちゃん役)



大森日雅
(花園ゆりね役)



山口幸太郎
(千歳市市長)

ポルトムホール特別プログラム

TVアニメ化決定!!奇跡のイリュージョン、ここに開演!

「はてな☆イリュージョン」

TVアニメ放送決定記念 スペシャルトークイベント!



今年最高のイリュージョンを新千歳空港で楽しもう!

新千歳空港国際アニメーション映画祭特別プログラムとして「はてな☆イリュージョン」のオープニング主題歌を担当するLiyuuと、エンディング主題歌を担当する鈴木愛奈の2アーティストをゲストに迎え、主題歌の楽曲についてなど、North Waveの人気アニソン番組「Anison-R〜マンガ・アニメ研究部〜」のパーソナリティ・片岡香澄が、インタビュー!さらに、「はてな☆イリュージョン」のスタッフも交えて、進捗情報や最新映像なども公開!

■ゲスト



オープニング主題歌アーティスト Liyuu

中国上海在住のコスプレイヤー。そのフォトジェニックなビジュアルから中国Weiboのフォロワー数、約65万人、Twitterフォロワー数は40万人を超えており、中国のみならず世界中のコスプレファンから圧倒的な人気を誇っている。ランティスレーベルよりアーティストデビューが決定。



エンディング主題歌アーティスト 鈴木愛奈

北海道出身。2014年に声優デビュー。2015年には「ラブライブ!サンシャイン!!」小原鞠莉役に決定し、スクールアイドルグループAqoursとして2018年には東京ドーム2 Daysで国内外ライブビューイング含め約15万人を動員、同年末の第69回NHK紅白歌合戦に出演を果たした。過去には第七回 全日本アニソングランプリ全国決勝大会にてベスト3入りを果たし、数多くの民謡全国大会にて優勝の実績を持つ。ランティスレーベルよりアーティストデビューが決定。

ポルトムホール特別プログラム

TVアニメ第三期製作決定記念ツツ!!!

『ゴールデンカムイ』セクション上映会&トークショー



キャスト3名によるトークショー付き豪華上映会！

原作は「週刊ヤングジャンプ」（集英社）にて連載中の、野田サトルによる大ヒット漫画。既刊のコミックス1～19巻でシリーズ累計1000万部を突破し、マンガ大賞2016や第22回手塚治虫文化賞「マンガ大賞」に輝いた実績も持つ、いまもっともアツい漫画である。TVアニメ化にあたっては、新進気鋭のアニメーションスタジオであるジェノスタジオのもとに難波日登志監督をはじめとする実力派スタッフが集結。埋蔵金を巡るアクション&サスペンスを軸に、狩猟、グルメ、歴史などの五感を刺激する多彩な魅力が炸裂する極上のエンターテインメントが、アニメーションとなって観る者の心を鷲掴みにする！本映画祭では、キャストの杉元佐一役・小林親弘さん、アシッパ役・白石晴香さん、白石由竹役・伊藤健太郎さんの3人によるトークショーと上映会を開催します。

■ゲスト



小林親弘（杉元佐一役）

俳優、声優。演劇集団円（円企画）所属。主なアニメ出演作「BEASTARS」レゴシ役、「転生したらスライムだった件」ランガ役、「夢王国と眠れる100人の王子様」ボックス役、「COP CRAFT」ガードナー検事補役、「ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうかⅡ」アレス役ほか。



白石晴香（アシッパ役）

女優、声優。ヒラタオフィス所属。主なアニメ出演作『山賊の娘ローニャ』ローニャ役、『干物妹！うまるちゃん』本場切絵役、『あんハピ♪』雲雀丘瑠璃役、『アクションヒロイン チアフルーツ』紫村果音役、『セントールの悩み』名楽羌子役、『うちのメイドがウザすぎる！』高梨ミーシャ役ほか。



伊藤健太郎（白石由竹役）

俳優、声優。マウスプロモーション所属。主なアニメ出演作『弱虫ペダル』シリーズ 田所迅役、『ブラッククローバー』ランドール・ルフートール役、『スター☆トゥインクルプリキュア』クム役、『NARUTO』『BORUTO』シリーズ 秋道チョウジ役、『BLEACH』シリーズ 阿散井恋次役ほか。

ポルトムホール特別プログラム

2020年4月TVアニメ化記念 新千歳空港国際アニメーション映画祭 『波よ聞いてくれ』 特別プログラム 北の大地より開幕！



講談社「アフタヌーン」にて好評連載中の『波よ聞いてくれ』が2020年4月にTVアニメ化決定！
『無限の住人』の沙村広明氏が描く最新作を、『機動戦士ガンダム』『ラブライブ！』を手がけるサンライズが制作！ 北海道札幌市を舞台にした予測不可能な無軌道ストーリーがいよいよTVアニメで開幕する！

本映画祭では、先行第1話上映会のほか、鼓田ミナレ役の杉山里穂さん・南波瑞穂役の石見舞菜香さん・甲本龍丞役の石川界人さんによるトークショーや朗読劇も開催！

さらに、原作：沙村広明先生によるライブドローイングも実施！ぜひご参加ください！

■ゲスト

杉山里穂
鼓田ミナレ役



石見舞菜香
南波瑞穂役



石川界人
甲本龍丞役



沙村広明
原作者



作品情報

監督：南川達馬

2019年／23分37秒／日本語

公式サイト

<http://namiyo-anime.com/>

ポルトムホール イベントスケジュール



「第6回 新千歳空港国際アニメーション映画祭」 開会式、授賞式・閉会式

場所：新千歳空港ポルトムホール

＜開会式＞

日時：11月1日 14:00～（受付13:30～）

＜授賞式・閉会式＞

日時：11月4日 17:00～（受付16:30～）



TVアニメ『邪神ちゃんドロップキック』 スペシャルイベント 「北サバト in NEW CHITOSE 2019」

場所：新千歳空港ポルトムホール メインホール

日時：11月2日 14:30開演予定



奇跡のイリュージョン、ここに開演！ 「はてな☆イリュージョン」

TVアニメ化直前 スペシャルトークショー！

場所：新千歳空港ポルトムホール メインホール

日時：11月2日 17:30開演予定



2020年4月TVアニメ化記念 新千歳空港国際アニメーション映画祭 『波よ聞いてくれ』特別プログラム 北の大地より開幕！

場所：新千歳空港ポルトムホール メインホール

日時：11月3日 14:00開演予定



TVアニメ第三期製作決定記念ツツ!!! 『ゴールデンカムイ』 セレクション上映会&トークショー

場所：新千歳空港ポルトムホール メインホール

日時：11月3日 17:00開演予定



展示・ワークショップ センタープラザ

センタープラザ会場

入場無料

開催概要

会場／新千歳空港国内線ターミナルビル2階 センタープラザ

時間／10:00～18:00

料金／展示・イベント全て観覧無料です。

※一部営業時間が異なるコンテンツがございます。

「波よ聞いてくれ」特別ブース&アフレコ体験ブース



札幌マンガ・アニメ&声優専門学校

『波よ聞いてくれ』の鼓田ミナレがヒグマに跨り雄叫びを上げる第1弾キービジュアルを使用したフォトスポットや複製原画などが展示される『波よ聞いてくれ』特別ブースや、主演鼓田ミナレを演じる杉山里穂さんの出身校札幌マンガ・アニメ&声優専門学校協力によるアフレコ体験ブースを展開します。

札幌マンガ・アニメ&声優専門学校：
<https://www.smg.ac.jp/td/>



波よ聞いてくれ

講談社「アフタヌーン」にて好評連載中の『波よ聞いてくれ』が2020年4月にTVアニメ化決定！

波よ聞いてくれ：<http://namiyo-anime.com/>

© 沙村広明・講談社／藻岩山ラジオ編成局

映画『プロメア』ガロ&リオ等身大立像が新千歳空港に見参！



北海道初上陸！

AJ2019のXFLAGブースでも登場した、ガロとリオの等身大立像が、映画祭期間限定で新千歳空港国内線2階センタープラザ中央に登場！是非ご覧ください！

© TRIGGER・中島かずき／XFLAG

センタープラザ会場

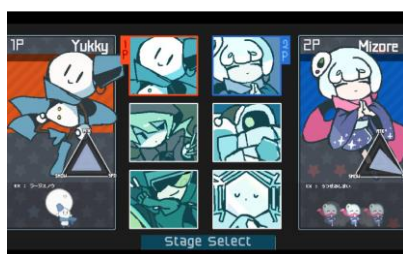
入場無料

特設ブース「北海道eスポーツホライゾン」 新しい世界をeスポーツでワクワクする

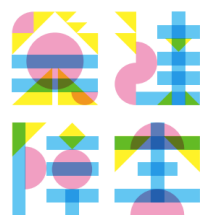
ビデオゲームやPCゲームを用いた新しい競技、それが「eスポーツ」です。近年、eスポーツの大会が世界各地で開催され、大勢のプロ選手が活躍しています。中でもアジアは12億人のアクティブユーザーがおり、トップ選手の多くがアジア出身であることから、eスポーツの重要な市場・発信地として注目されています。そんなアジアの国々と繋がる北海道、新千歳空港でeスポーツを体験してみませんか？

協力：

北海道情報大学eスポーツサークル、(一社)北海道eスポーツ協会、北海道eスポーツ連合、(一社)道南eスポーツ協会、道北eスポーツ協会



ふつうってなんだろう？ NHK発達障害キャンペーン展



NHKでは「発達障害って何だろう」をテーマにキャンペーンを展開中です。“見えにくい障害”ともいわれる発達障害。人知れず“生きづらさ”を抱えてる人も多くいます。2分アニメシリーズ「ふつうってなんだろう？」をはじめとしたNHKのさまざまな番組や、このパネル展示を通して、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか？

発達障害って何だろう



チケット情報

■ 販売情報

チケットぴあにて各種前売券発売中。また、2019年10月15日（火）より、該当プログラムを必ず鑑賞いただける「前売指定券」も販売開始。

区分	前売	当日
全期間パスポート	2,500円	3,000円
1DAYパスポート	1,500円	2,000円
前売指定券	プログラムごとに異なる	
1プログラム券		1,000円

※表示価格は全て消費税込みの料金となります。（手数料等は別途）

【前売指定券について】

プログラム別の座席指定券（前売指定券）です。該当プログラムを必ず鑑賞したい場合にご購入ください。

販売日：2019年10月15日（火）より

取扱い：チケットぴあ

※Pコード、販売URLは後日発表

【その他、前売券】

販売日：2019年8月31日（土）より発売中

取扱い：チケットぴあ

【Pコード】全期間パスポート：467-826

1DAYパスポート：550-203

【URL】 <http://w.pia.jp/t/airport-anifes/>

■全期間パスポート

期間中のすべてのプログラム（※）をご覧ください。

■1DAYパスポート

期間中いずれか1日のすべてのプログラム（※）をご覧ください。

■1プログラム券

期間中いずれかひとつのプログラム（※）をご覧ください。

※全席指定プログラムを除く。

【整理券について】

全席指定プログラム以外の全プログラムは当日整理券対応を予定しています。

- ・整理券は該当プログラム上映日にインフォメーションにて配布します。
- ・詳細は追って公式WEBサイト等で発表します

- チケットは数に限りがございますので、売切れ次第販売を終了いたします。
- チケットの詳細については、公式HP (<http://airport-anifes.jp>) をご確認ください。

■ 学生1DAYパスポート

映画祭期間中、学生証を持参いただいた高校生以下の学生に対し、無料で学生1DAYパスポートを発行いたします。

※一日あたりの発行数には上限があります。

※学生証をお持ちでない小学生以下の児童・園児については、当日チケットカウンターにて口頭で年齢確認をさせていただき、学生1DAYパスポートを発行させていただきます。

チケット情報（ポルトムホール）

■ 販売情報

新千歳空港ポルトムホール内での各プログラムは、プログラムごとにチケット価格・販売期間・受付方法などが異なります。詳細は後日映画祭公式サイト等で発表します。

TVアニメ『邪神ちゃんドロップキック』スペシャルイベント 「北サバト in NEW CHITOSE 2019」



本プログラムでは全席「前売座席指定券」を販売します。この映画祭公式チケット販売以外にも、豪華特典がついたチケットを邪神ちゃんドロップキッククラウドファンディング第2弾「神保町哀歌」にて販売中。詳しくはこちらをご覧ください。

<https://motion-gallery.net/projects/jashinchan02>

料金：3,000円

発売日：10月15日（火）10:00 ※先着順

2020年4月TVアニメ化記念 新千歳空港国際アニメーション映画祭 『波よ聞いてくれ』特別プログラム 北の大地より開幕！



料金：2,500円

発売日：10月15日（火）10:00

抽選期間：10月15日（火）～20日（日）

抽選結果発表：10月22日（火）

支払期限：10月24日（木）

TVアニメ第三期製作決定記念ツッ!!! 『ゴールデンカムイ』セレクション上映会&トークショー



先行抽選販売

料金：1,500円

申込期限：2019年10月15日（火）10:00～10月20日（日）23:59

当落発表：2019年10月22日（火）

入金期限：2019年10月24日（木）23:59

一般販売

料金：1,500円

販売期間：2019年10月31日（木）10:00～11月2日（土）23:59

奇跡のイリュージョン、ここに開演！

「はてな☆イリュージョン」TVアニメ化直前 スペシャルトークショー！



※後日詳細発表予定



<http://airport-anifes.jp>

お問い合わせ先

新千歳空港国際アニメーション映画祭事務局

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西2丁目1
札幌時計台ビル9F 株式会社えんれいしゃ内
TEL: 011-206-1280
E-mail: info@airport-anifes.jp
10:00～18:00(土・日・祝日休業)

※プレスリリースの写真の転載はご遠慮ください
※本リリース電子データ(PDF)、一部画像素材等は下記より
DLいただけます
URL : <https://bit.ly/30WC9Vi>